

新型コロナウイルス感染症の対策等に関するガイドライン

2020年 8月 8日

福島県アイスホッケー連盟

磐梯熱海アイスアリーナ

＜アイスアリーナ使用に関する注意事項＞

【アイスアリーナに出かける前の注意事項】

- 練習に行く前に、自宅などで検温し37.5 度以上の発熱や体調不良がある場合は、練習の参加を控える。また、同居する家族で同様の症状がある場合も練習参加は控える。

【アイスアリーナに入館する際の注意事項】

- アイスリンクに入る前に、検温を行い37.5 度以上の発熱や体調不良がある場合は、アイスアリーナへの入場を控える（検温は非接触体温計を使用する）。また、検温はアイスアリーナの外で行う、天候や施設的な問題などでできない場合は、できる限り接触が少ない場所で実施する。
- アイスアリーナ内に入館後、ただちに石鹸を使い20秒以上の手洗いを行い、手指の消毒を行う。練習終了後も同様に行う。使用する「手洗い用石鹸」、「消毒液」などは、可能な限り自チーム準備し、使用する。

【リンク内での注意事項】

- 咳とくしゃみのエチケットをチーム内で周知徹底、リンク内での唾吐き行為禁止。
- アイスアリーナ内には、必要最低限の時間のみ滞在する。そのため自宅や車内などで、できる限りの防具の着用を済ませてくる。（スケート、ヘルメット、グローブ、マウスピース以外の着用を目安）
- アイスアリーナ内での観覧者数（保護者など）は、可能な限り最小限に制限（5名以下を目安とする。ただし、運営上必要な場合は、この限りではありません。その場合はソーシャルディスタンス等確保すること。）する。その際に必要となる緊急対応方法や連絡手段の確認を事前に行っておく。
- **施設内のラウンジルームの使用を認めるが、採暖室の使用は禁止とする。**
- 全ての施設入館者はマスクの着用を徹底する。
- 着替えはソーシャルディスタンス（2m以上を目安）を確保して行う。
※着替えの際、ベンチを移動させて着替えることは禁止。
- 練習前のウォーミングアップや練習後のクールダウンは、チームでまとまらず個人で行うようにする。

【練習中】

- 選手同士の素手での接触禁止（ハイタッチなど）、タオル、ドリンクボトルなどの共有は控える。
- 練習中もソーシャルディスタンスの確保に努める。そのため可能な限り練習参加人数を制限し、選手を集合させて作戦ボードを使った練習の説明は最小限にとどめる。
- 選手をベンチなど、一か所に密集させないよう練習メニューを工夫する。

- ボディーチェック、ボディーコンタクト禁止
- 練習等で使用するパックに関しては、回収時等、直接手に触れる場合が多く、感染リスクが高まることが想定されるため、出来るだけ各チームで準備し使用すること。また、練習後は消毒等対応した上で、次回の練習時に対応すること。

【自チームの練習、合同練習参加、及び練習試合について】

- 練習参加については、本人の意思確認または保護者の同意（未成年の場合）を得ることとし、また、参加しない選手に不利益が生じないようにすること。
- 県内チーム同士の練習試合、合同チームとして認められているチーム以外の合同練習を可能とする。
- 県外選手の練習参加およびビジター受け入れを可能とする。また、県外チームとの練習試合、県外チームとの合同練習は可能とする。**但し、1週間以上の健康チェック表に体温等、必要事項を記入し提出の上参加しても良い。様式は、福島県アイスホッケー連盟ホームページからダウンロードすること。**

http://fihf.sakura.ne.jp/Health_check_sheet_personal.pdf

【その他】

- アイスアリーナを使用する場合は、スタッフ、選手、保護者等の参加者名簿を、その都度、管理し、名簿の書式は福島県アイスホッケー連盟の様式を原則とし、使用日時、参加者名、入館時の検温の記録をすること。